

第4期芸術文化振興ビジョンの概要【案】

本県の芸術文化振興のための取組の展開方向を示す「芸術文化振興ビジョン」（第1期:H16～ 第2期:H27～ 第3期:R3～）について、取り巻く環境の変化や現行ビジョンの検証等を踏まえ、今般、**新たな5か年計画**を策定する。〔11/27第2回ビジョン検討委員会で素案を議論し、案として1月にパブリック予定）

基本目標 『芸術文化立県ひょうご』

～誰もが芸術文化に親しみ、芸術文化の力で躍動する兵庫の実現へ～

基本方針

- 1 芸術文化を創造・発信する
- 2 芸術文化の“場”を育て広げる
- 3 文化力を高め、地域づくりに活かす
- 4 みんなで支え、総合的に取り組む

計画期間

令和8年～令和12年（5年間）

第1期ビジョン 平成16～26年
第2期ビジョン 平成27～令和2年
第3期ビジョン 令和3～7年

時代潮流、検証等

【現行計画の検証と課題】

- △若者世代の活動機会の確保
- △神戸・阪神間とその他との格差
- △豊富な地域資源の更なる活用
- △更なる寄附の促進 等

【取り巻く環境の変化】

- △人口減少・少子高齢、担い手不足
- △コロナ後の行動変容と芸術文化の力の再評価
- △物価高・円安、米国関税問題
- △アフター万博と神戸空港の国際化
- △県民会館の閉鎖と県庁舎の再整備 等

重点取組

重点1

若者世代の活動支援と担い手の育成

（若年層の活動支援、子ども・若者の体験機会の充実、積極的な動画活用 等）

重点2

誰もがどこでも芸術文化に親しめる環境構築

（地域格差是正（アトリーチ等）、障害者芸術の充実、外国人への支援 等）

重点3

芸術文化資源を活かした地域活力の喚起

（シビックプライドの醸成、日本遺産等の活用、観光・地域活性化への活用 等）

重点4

持続可能な芸術文化環境の構築

（市町との連携強化、新たな寄附手法導入等）

成果指標

- | | | | |
|-----------------|------------------|------------------|---------------|
| ①芸術文化に接する機会がある | 50%(令和6実績 39.2%) | ②自慢したい地域の宝がある | 65%(" 40.9%) |
| ③この1年で芸術文化を鑑賞した | 90%(" 88.1%) | ④この1年で芸術文化を自ら行った | 55%(" 39.9%) |

（「ゆたかさ指標」（①、②）「県民モニター」（③、④）より）

重点取組の具体的展開のイメージ

重点1(若者、育成)

重点2(共生社会)

重点3(地域活力)

重点4(持続可能)

重点1

若者世代の活動支援と担い手育成



(高校生文化部フェス)



(合同練習会)

アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト



ショート動画によるPR



子ども体験機会の充実(伝統文化、音楽等)

重点3

芸術文化資源を活かした地域活力の喚起



兵庫・香川連携によるコンテンツの造成



県内日本遺産のネットワーク化

重点4

持続可能な芸術文化環境の構築



(最古の登窯復興と丹波焼の里活性化推進プロジェクト)

ふるさとひょうご寄附金の獲得推進



(KOBELCO大ホール)

ふるさとひょうご寄附金、ネーミングライツの獲得推進

重点2

誰もがどこでも芸術文化に親しめる環境構築



ひょうごプレミアム
芸術デー



障害者芸術活動の充実
(スタートアップ支援・
アドバイザー設置等)



PAC公演などの地域のホールへの
配信

第4期ビジョンでの主な取組項目

重点1(若者、育成)

重点2(共生社会)

重点3(地域活力)

重点4(持続可能)

基本方向

従来からの取組で継続するもの（例）

次期ビジョンからの主なもの（例）

1 芸術文化を創造・発信する

- ・アーティストサロンによる芸術家への情報提供・発表・交流機会
- ・芸術系学校による育成と卒業生との連携強化
- ・新進美術家の登竜門である「県展」の開催
- ・有利な財源を活用した機能強化、長寿命化
- ・HP、広報誌等による地域へ向けた情報発信
- ・ピッコロ劇団やPACによる各地域のホールでの公演 等

- 高校生部活動等の練習や発表の場の充実（文化部応援P） 重点1
- 国際的に活躍する若手の育成（海外武者修行応援P） 重点1
- 若手職員・大学生等のアイデアの積極的な活用 重点1
- 時代の変化を踏まえた施設の活性化策の検討と共有 重点4
- 新庁舎等整備プロジェクト外基本構想を踏まえたギャラリー等整備の検討 重点4
- Instagram、YouTube等でのショート動画の積極的な活用 重点1
- PACの公演の各地域のホール等への配信 等 重点2

2 芸術文化の“場”を育て広げる

- ・PACやピッコロ劇団によるアウトリーチ活動
- ・「ふれあい文化の祭典」の開催による交流促進
- ・兵庫県障害者芸術・文化祭の開催
- ・外国人を対象にした演劇の手法による日本語ワークショップの開催
- ・いなみの学園、阪神国際カレッジなど地域高齢者大学の運営
- ・子ども伝統文化わくわく体験教室の実施
- ・わくわくオーケストラ教室の実施 等

- 誰もが芸術文化に親しめる機会を提供するプレミアム芸術デー 重点2
- 工バーンな映画鑑賞会、ミュージックフェアの開催 重点2
- スタートアップ支援やアドバイザー設置など障害者芸術活動支援 重点2
- 県立施設における先導的な親子向けイベントの開催 重点1
- 伝統文化以外も含め芸術に触れあえる体験機会の充実 等 重点1

3 文化力を高め、地域づくりに活かす

- ・文化財保存活用大綱に基づく計画的な文化財の保存・活用
- ・歴史文化遺産の活用を図る Heritage マネージャー等の人材育成
- ・日本遺産の認定と活用
- ・兵庫津、松帆銅鐸などの歴史遺産を活用した地域振興
- ・ミュージアムロード、阪神間モダニズム等による地域の活性化事業 等

- 無形民俗文化財の県登録制度の活用促進 重点3
- 県内日本遺産のネットワーク化による情報共有・発信力強化 重点3
- 地域の文化や経済の保全・発展を生み出すサステナブルツーリズムの推進 重点3
- 兵庫・香川連携による観光コンテンツ・ツアー(アート・伝統工芸)造成 重点3
- アニメーション、音楽フェスなどポップカルチャーを活用した地域振興 等 重点3

4 みんなで支え、総合的に取り組む

- ・芸術文化や歴史について学ぶことのできる講座の開催
- ・社会教育施設等で活躍する文化ボランティアの資質向上
- ・県民や関係者等への「芸術文化振興ビジョン」の周知・啓発
- ・文化庁等の国省庁や地域創造等の国関係機関の支援活用 等

- ネーミングライツの拡充や新たな寄附手法の導入 重点4
- 県と市町による定期的な情報交換の場の設置 重点4
- リーディングケース(芸文センター、県立美術館等)の事例共有 等 重点4